

## 瀬戸内三原築城450年歴史館の概要を発表

市は今年11月にJR三原駅前のペーシテイ三原西館1階に開設する瀬戸内三原築城450年「歴史館」(仮称)の概要を明らかにしました。

約480㎡の展示スペースを4つのゾーンに分け、三原城や小早川隆景をはじめとする市の歴史・文化などに触れ、体感できる拠点として関連資料などを展示します。

三原城ゾーンでは三原城の絵図面や古写真、三原物と呼ばれる刀などを展

示。城下町ゾーンでは甲冑や旗などを展示し、記念撮影コーナーも設置します。

隆景公歴史ゾーンでは、小早川隆景が居城とした高山城と新高山城の模型などを展示。文化・伝統ゾーンでは、市内の祭りや観光地、特産品などを紹介します。

施設内には床や柱などに隆景公ゆかりの地の絵図や年表なども展示し、企画展として三原の酒文化を紹介するコーナーも設置する計画です。

市では、歴史館を通じて三原城を中心に発展してきた市の歴史・文化を市内外へ発信していきます。

☎文化課

☎0848・649234

## スイーツの新商品開発へ糸崎小に指定証を交付

市は糸崎小学校を「三原食ブランド化スイーツ部門新商品開発校」に指定し、先月17日に指定証を交付しました。市では現在、地方創生の取り組みの一つとして「食のブランド化」を推進しており、小学生と地元企業でスイーツの新たな特産品を共同開発し、商品化することをめざしています。

同日実施した交付式には、糸崎小学校の5・6年生33人が出席。天満祥典市



▲天満祥典市長と糸崎小学校児童代表の米倉久陽君

長から指定証を手渡された児童代表の米倉久陽君は、「このようなチャンスをもたらい、とてもうれしく思います。新しいスイーツを開発し、ピアーリングして、もっと多くの人に三原を知ってもらいたい」と抱負を語りました。

地元企業として同席した株式会社八天堂・林義之本部長は「皆さんの柔軟な発想を期待しています」と話し、天満市長も「まちの元気づくりに向け、最後まで力を合わせて頑張ってください」と激励しました。

児童は今後、八天堂で工場見学や商

## 副市長が就任

先月20日、市議会からの選任の同意を得て、副市長に大西英之さんが決まり、7月1日に就任しました。

副市長



おおにしひでゆき 大西英之さん

昭和57年に東洋工業株式会社(現:マツダ株式会社)に入社し、平成19年にマツダ株式会社国内営業本部第三管轄販売部部長。平成22年にアウディジャパン販売株式会社に入社し、取締役副社長、代表取締役社長、名誉会長、特別顧問を歴任。三原市出身、56歳。

品づくり体験などを行い、秋以降の販売をめざして新商品の開発に取り組みます。

☎学校教育課

☎0848・676155

経営企画課

☎0848・676270